

## 花粉症には小青竜湯でいいか

小青竜湯(しょうせいりゅうとう)という

漢方薬があります。

水様性鼻炎、くしゃみに使われます。

漢方薬には病名はかんけいありませんから、

”水っぽい鼻水が出る、くしゃみが出る”という症状があれば、結果的にそれが鼻かぜであろうがアレルギー性鼻炎(花粉症を含む)であろうが、どちらにも効きます。

西洋薬(新薬)のようにインフルエンザならタミフル!

というように1対1の対応はしていません。

昔の人は目の前で病気になる人を見て、

この症状ならこの組合せで生薬を煎じて飲むと治るぞ!

ということは知っていたわけです。

これがインフルエンザだとか診断はつかなかったでしょう。

点滴もない時代に目の前の症状を速効性に治さなければ生命の危険がありました。

ですから漢方薬に速効性で炎症を止める作用(抗炎症作用)に使われていたと考えられます。

話を戻します。

「花粉症には小青竜湯でいいか?」ですが、ある意味”正解”ですが、ある意味”不正解”です。

人によって使う(合う)漢方薬が異なります。

小青竜湯じゃ全く鼻水、くしゃみが止まりません!という方が

葛根湯を飲んだら一発で治ったと言うかも知れませんし、

小青竜湯でも私には強すぎて胃がムカムカして困るという方もおられます。

要は他人は他人、自分は自分なのです。

他人に合う薬が自分に合うとは限りません。

ネットで調べた漢方薬が、パッチリ効く保証はありません。

オーダーメイドの服のように自分に合うものが見つければありがたいです。

一度自分に合った漢方薬は久しぶりに飲んででも効く可能性は高いです。



たまには  
長文を



まずは漢方薬を1種類飲んでみて自分に合うかを試してみましょう。少なくとも飲める、症状が悪化しないものは続けて飲んで間違いはありません。

すべての人が劇的に治ることはありませんが、いろいろな状況で漢方薬を使っていくと、”結構早く効くなあー”と感じる機会が必ずあります。

先入観を持たずに飲むことが大事です。

そうそう、大人の方はお湯で飲んで下さいね。

(長文におつきあいしていただき、ありがとうございました)

## 予防接種のこと

生後2ヶ月から予防接種(ワクチン)を開始しておられることと思います。

1才までにできる限りの接種をすませておきましょう。

3才を過ぎて日本脳炎ワクチンをまだうっていないお子さんを時々みかけます。

一時的に国のおすすめワクチンからはずれましたが、新しいワクチンに代わり、おすすめに戻りました。

間隔がずいぶん空いてしまっても接種可能です。

わからないことは電話でも結構ですから、お問い合わせ下さい。



## お知らせ

### 小児夜間急病センター当番日

4月1日(火) 19:30-22:30(受付) 岐阜市民病院

### 休診のお知らせ

4月5日(土) 都合により休診します。よろしく願います。